

さかえ

市議会だより

No.134

2017年7月20日

子どもがすくすく育つまち

きめ細かな保育環境の整備のため、認可保育所の施設整備が進められています。(ゆりかご子ども園にて)

目次

正副議長就任のあいさつ	P 2
議会の新構成	P 3
議案に対する主な質疑等	P 4
提出議案と採決結果	P 6
一般質問	P 7
政務活動費収支状況、議会日誌	P 9
議会報告会	P 10
タブレット議会、市議会ホームページのご案内	P 11
市民の声、おらがまち紹介	P 12

議会の新構成が決まりました —第1回臨時会—

第1回臨時会が5月19日に開催され、議長・副議長選挙や常任委員会委員をはじめ、各種議員・委員の選出等、議会の役員改選が行われました。その結果、議長に内藤明議員、副議長に柏倉信一議員が当選。その他各種常任委員会等の構成は、次のとおり決定しました。また、市長から提案された監査委員（議会選出）の選任についての議案に同意、市税条例等の一部改正3案件についての専決処分を承認しました。

正副議長就任のあいさつ



内藤 明
議長

市民の皆様には、平素より本市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、私ごと、過般の臨時会において、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。



柏 倉 信 一
副議長

5月19日、臨時会において同僚議員のご推挙を賜り寒河江市議会副議長を拝命しました柏倉信一です。

われわれ地方自治体にとって現在最大の政治課題は何といたっても地方創生であります。人口減少問題の対

身に余る光栄であると同時に、浅学非才ゆえに、責任の重さに身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、議会の果たすべき役割を再認識し、少数意見も大切にしながら、公平で公正な議会運営に専心努力してまいりる所存でございます。

地方政治では、議会と執行機関の関係は車の両輪に例えられます。二元代表制

の一翼を担う市議会として、市当局とは一定の緊張感を保ちながら、市政運営における監視はもとより、市民の負託を受けた代表として常にその目線で政策論を展開できる議会であるよう、研鑽を積んでまいりたいと思っております。

また、市政発展のために、市民福祉の向上と生活の安定を基本に据え、少子高齢化社会への対応など喫緊の

諸課題について、市民皆様の声に耳を傾けながら、一つひとつ解決に向けて知恵を出し合い、努力してまいります。そして、ここで生まれ、育ち、住んで良かったと思える寒河江市となるよう全力を尽くす決意であります。

市民皆様の一層のご支援とご協力をお願い申しあげまして、就任の挨拶いたします。

応を前提に、雇用・福祉・住環境の整備・子育て支援等の政策を検討すべき時であります。また、グローバル化の進展やICTを有効活用した街づくりの対応等も進めていかねばならない課題です。こうした政治課題に真摯に向き合い五十年・百年先の寒河江市のあるべき姿を見据え、市民皆様の代弁者として活発な議論の場づくりを整えることで市

民にとって存在感のある議会を作って行かねばならないと思っております。こうした議論を行う上で、大切な事は民意を汲み上げることが重要であり、その為には様々な機会を捉え、市民皆様とコミュニケーションをとることを議員一人一人が積極的にとりくまねばなりません。そして政策の勉強を積み、議場で政策提言を行っていききたいものです。

われわれ寒河江市議会は、議会活性化の観点から、全国的に不祥事の続いている政務活動費のホームページ掲載を今年度から始め、この6月議会からペーパーレス・事務事業の効率化等を目的にタブレット端末を活用した議会運営も始まりました。二元代表制の役割を担う議会を目指し議長の補佐役として全力で取り組んでまいります。

議会の構成

議長 内藤 明
副議長 柏倉 信一

議会運営委員会

委員長 石山 忠
副委員長 佐藤 耕治
委員 太田 芳彦
阿部 清
沖津 一博
國井 輝明

※正副議長は、オブザーバーとして出席します。

総務産業常任委員会

委員長 伊藤 正彦
副委員長 辻 登代子
委員 内藤 明
古沢 清志
石山 忠
國井 輝明
工藤 吉雄
木村 寿太郎

厚生文教常任委員会

委員長 佐藤 耕治
副委員長 杉沼 孝司
委員 渡邊 賢一

遠藤 智与子
太田 芳彦
阿部 清
沖津 一博
柏倉 信一

予算特別委員会

委員長 阿部 清
副委員長 渡邊 賢一
委員 議長を除く全員

決算特別委員会

委員 議長および議員
選出監査委員を
除く全員

※正副委員長は、委員会設置時に互選となります。

寒河江市議会改革・活性化検討委員会

委員長 柏倉 信一
副委員長 渡邊 賢一
委員 佐藤 耕治
遠藤 智与子
太田 芳彦
杉沼 孝司
木村 寿太郎

さがえ市議会だより編集委員会

委員長 柏倉 信一
副委員長 石山 忠
委員 古沢 清志
伊藤 正彦
阿部 清

各種議員・委員等

沖津 一博

監査委員

西村山広域行政事務組合議会議員

議長 内藤 明
議員 太田 芳彦
伊藤 正彦
石山 忠
沖津 一博
木村 寿太郎

寒河江市都市計画審議会委員

古沢 清志
佐藤 耕治

山形県共同募金会寒河江市支会委員

内藤 明
古沢 清志
渡邊 賢一
太田 芳彦
辻 登代子
杉沼 孝司
木村 寿太郎

寒河江市スポーツ議員連盟

会長 内藤 明
副会長 柏倉 信一
事務局長 渡邊 賢一
理事 辻 登代子
古沢 清志
佐藤 耕治

森林・林業・林産業活性化推進寒河江市議会議員連盟

会長 内藤 明
副会長 柏倉 信一
幹事長 伊藤 正彦
幹事 古沢 清志
杉沼 孝司
渡邊 賢一
太田 芳彦

タブレット導入検討会

議長 内藤 明
副議長 柏倉 信一
委員 伊藤 正彦
遠藤 智与子
國井 輝明
木村 寿太郎

会派の構成

寒政・公明クラブ（7人）

会長 國井 輝明
副会長 阿部 清
幹事長 杉沼 孝司
計 伊藤 正彦
辻 登代子
佐藤 耕治
古沢 清志

会派に所属しない議員（9人）

内藤 明
渡邊 賢一
遠藤 智与子
太田 芳彦
石山 忠
沖津 一博
工藤 吉雄
木村 寿太郎
柏倉 信一

6月定例会 (さくらんぼ議会)

— タブレット導入初議会 —

6月定例会は、「さくらんぼ議会」として5月31日から6月15日までの16日間の会期で開かれ、人事案件3件、補正予算2件、条例改正4件、その他1件の合計10案件を審議した結果、いずれも原案のとおり同意、可決しました。また、議案1件が可決、請願1件が不採択となりました。



同意

市農業委員会委員の任命

相原稔さん、新宮しのぶさん、石山邦一さん、猪倉通文さん、大泉邦彦さん、奥山浩二さん、影沢政俊さん、加藤友康さん、菊地ひとみさん、菊地弘美さん、木村三紀さん、佐藤義広さん、菅井孝一さん、鈴木久一さん、土田彦雄さん、土屋喜久夫さん、眞木早百合さん、渡辺裕之さん

市固定資産評価審査委員会委員の選任

高橋雅幸さん (中央)

議案に対する主な質疑

条例関係

特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正

議員 医師の非常勤職員報酬日額を改定することのことだが、特別職報酬等審議会との関係はどうか。

答弁 当審議会で非常勤特別職の日額報酬については、

人権擁護委員の候補者の推薦
三瓶杉子さん (箕輪)

報告

◎平成28年度寒河江市一般会計繰越明許費繰越計算書について

◎平成28年度寒河江市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

協定の締結

市浄化センターの建設工事に関する協定の締結
随意契約により市内の業者と1億5920万円で協定を締結するもの

審議の対象にしています。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

議員 教職員から採用される指導主事の給与は、山形県職員等の給与に関する条例を適用し、その中の教育職の給料表を使うというところか。

答弁 そのとおりです。

予算関係

(一般会計補正予算第1号)

自転車活用まちづくり協議会負担金

議員 BMX(バイシクルモトクロス) 全国大会の開催について、2点伺いたい。
①参加エントリーの規模及び会場について、②東京オリンピックの練習コートなどを見込んでスケートパークを整備する考えはあるか。

答弁 ①全日本フリースタイルBMX連盟主催の開催で、関係者、観客が数百名になるとのことです。会場は、最上川ふるさと総合公園のスケートパークです。
②将来的にオリンピックでスケートパークを活用できないか考えております。

降雪被害に係る補植用苗木購入補助

議員 災害復旧費と今回の補助制度で出す場合とで違いはあるのか。

答弁 今回は補助金として出しています。災害復旧費の場合は、工事や測量、原材料費等が対象ということと考えています。

議員 さくらんぼの木の雪害が1100本余りあるとのことだが、果樹振興協会の事前調査で確定したものなのか。

答弁 1月中旬の降雪被害について、市で調査したものです。その数を県に報告していますが、それが補助対象となります。

中心市街地活性化センター維持管理事業

議員 フローラ・SAGAのボイラー2機を更新することのことだが、温水ボイラー以外にも更新が必要なものはあるのか。

答弁 今年が利活用促進計画の5年の見直しの時期にあたり、施設更新に係る経費等を算定していきたいと考えています。

放課後児童対策事業

議員 放課後児童クラブ支援員の処遇改善は、なぜ当初予算でなく補正予算で組むことになったのか。また、処遇改善の補正内容を具体的に聞きたい。

答弁 当初予算の段階では、国の処遇改善の改定についての情報がなかったため、今回の補正となりました。内容については、支援員経験年数により段階的に加算処置を行うというものです。

伝統野菜を使った食育推進

議員 伝統野菜を使った給食コンテストの具体的な内容は。

答弁 各小学校の子供たちに、おかず一皿と汁物一椀の献立を考案してもらおうと考えています。時期は10月ごろにコンテストを行い、11月上旬ごろに最優秀になった献立を各小学校の給食

で提供していきたいと考えています。

一般会計補正予算第2号

左沢線を活用した 広域観光の推進

議員 フルーツライン左沢線活用協議会は、具体的にどのような事業を行っているのか。

答弁 基本的には広域観光の推進、まちづくり、公共交通等の整備等を行うものです。今回計上している予算は広域観光の推進として、やまがた雪フェスティバル関連経費のものです。

除雪情報提供システムの整備

議員 除雪事業について、除雪協力隊へもGPSを貸与するということか。

答弁 70台で一斉除雪を行う際、その1台1台にGPS（スマートフォン）を設置し、除雪機械の位置情報を市ホームページ等で把握できるようにするものです。

請願

「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願に対する討議

賛成討論 農業と農村再生の最大の柱は「価格保証を中心」に所得補償を組み合わせ、生産コストをカバーする施策」だと考える。これから、小規模農家が離農して大規模農家だけ残っても農村は維持できない。誰か

が独り勝ちするのではなく、中小・零細農家も含め、だけれども農業で食べていけるよう農業者戸別所得補償制度の復活を心から願う。

反対討論 過去に戸別所得補償制度が実施されたことで、極小規模農家が交付金受給目的のために、稲作農家として続けることとなり、その結果、規模拡大を目指す稲作農家の農地確保が困

難になるなど大きく歯止めがかかった。戸別所得補償制度の政策ありきでは、国際社会において強い農業者が減少し、国際競争に負けてしまう。今必要とされている制度は、がんばる農家を支援することで、このようバラマキ政策でなく将来を見据えた展望ある政策が必要であり、よって、この請願には反対である。

要望書

次期山形県議会議員選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び選挙区別定数の現状維持について

先般、県議会におきまして、次期県議会議員選挙の実施に向けた検討委員会において、選挙区及び選挙区別定数の検討結果が報告されました。報告書では、現在の寒河江市区（定数2名）と西村山郡区（定数2名）を一つに統合し、定数合計を現在の4名から3名へ1名減とする内容となっておりますが、定数削減は、住民の意見を県政に反映させるという意味を後退させるものであり、広範な地域に生活する住民の意見を丁寧に吸い上げるためには、新庄市・最上郡の現状と比較しても、現在の定数合計の4名は不可欠なものであります。

今般、寒河江市・西村山郡の1市4町の首長が、検討結果は納得できないものとして、県議会に対し反対の意思表示と現状維持を要望したことは、今後県の均衡ある発展を進めていくうえでも地域住民にとって当然のことです。

つきましては、寒河江市・西村山郡に居住する住民の意見を県政へ反映させるため、次期選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び定数について、下記のとおり要望いたします。

- 1 次期選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び定数は、現在の寒河江市区（定数2名）、西村山郡区（定数2名）を維持すること
- 2 万が一、選挙区の統合を図る場合は、現在の定数合計の4名を維持すること



6月16日に山形県議会の志田議長へ寒河江市・西川町・朝日町・大江町の議長が合同で提出。河北町の議長は別途提出。

第1回臨時会、第2回定例会（6月定例会）の提出議案と採決結果

	議案番号	議案名等	採決結果
第1回臨時会	承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（寒河江市市税条例等の一部を改正する条例）	承認（全会一致）
	承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（寒河江市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認（全会一致）
	承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（寒河江市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（全会一致）
	議第36号	寒河江市監査委員の選任について	同意（全会一致）
第2回定例会	議第37号	寒河江市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
	議第38号	寒河江市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全会一致）
	議第39号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
	議第40号	寒河江市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
	議第41号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
	議第42号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
	議第43号	寒河江市市税条例等の一部改正について	可決（全会一致）
	議第44号	寒河江市公共下水道寒河江市浄化センターの建設工事に関する協定の締結について	可決（全会一致）
	議第45号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
	請願第1号	「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	不採択（賛否表参照）
	議案第2号	次期山形県議会議員選挙における寒河江市・西村山郡の選挙区及び選挙区別定数の現状維持を求める意見書の提出について	可決（全会一致）
			人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて

賛否表（賛否が分かれたものや、退席などがあった場合に表示しています）

議案名	議席番号 議員氏名																議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
請願第1号	※	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択

○は賛成、×は反対、※議長は採決に加わらない。



辻 登代子
議員

高齢化社会に対応した公共交通網の整備を今後どうするのか！

高齢化社会に対応するデマンドタクシーと市内循環バスが運行されているが、さらなる利便性の高い交通機関を望む。

①最上川クアパークや接骨院等の乗降場の追加の声があるが、どのような手続きが必要か。

②県立河北病院へのデマンドタクシーの運行について。

③交通空白地の支援について

市長 ①運行するタクシー事業者



高齢化社会に対応する市内循環バス

や乗降場の管理者との話合いにより協議が整うことが前提ですが、内容を地域公共交通会議で協議いただき承認を得る必要があります。

②寒河江市以外の地域への乗り入れについては、広域的な話し合いが必要で、山形県とも相談して実現の可能性について研究します。

③条件を克服する方法を検討し、少しでも不便を感じないようにする取り組みについて努力していきます。

小中学校各種大会への補助金
全額補助を望む！

①小中学校の部活動等では体育系、文化系ともに優勝を目指し練習に励んでいる。県、東北、全国大会出場時の補助率と平成28年度の実績は。

②現在の補助内容は。また、補助率はどのような経緯で改正されたか。

教育長 ①小学校は文化関係大会に7割、中学校は文化、体育大会に8割の補助を行っています。実績は、小中学校合わせて59件です。

②県大会以上の交通費、宿泊料等で、保護者の負担軽減の観点から、保護者や学校の要望等を参考に、今年度から中学校で7割から8割に改正しています。



渡邊 賢一
議員

さがえっ子の輝く未来を切り拓く教育の充実について

学校教育では、教職員の多忙化が大きな問題となっている。ゆとり教育の転換と新学習指導要領による多種多様な多岐にわたる対応に追われ、本来最優先すべき児童生徒と向き合える時間が減っていると聞く。また、道徳の教科化により、行き過ぎた愛国心教育が懸念される。

①適正な人員配置と人材確保について、どのように対策を講じているのか。

②いじめの認知数の現状と防止や撲滅に向けた取り組みを伺う。

③SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）の適正な利用のため、事件・事故防止対策の現状はどうか。

④将来の主権者教育のため、政治学習の機会を増やし、平和教育の事業を充実すべきではないか。

教育長 ①国や県の教員の加配状況等を勘案しながら、学校や子どもたちの実態に応じて、市単独で学習補助員を配置しています。



山形いのちの電話主催
【いのちとこころを考える集い】Inさがえより

②本市の認知件数は、小学校150件、中学校311件で、各学校のいじめ対策基本方針に基づき、未然防止や早期発見・解消によるいじめ撲滅に取り組んでいます。

③情報教育の授業、生徒会が主体となったアウトメディア宣言、PTAの研修会等を行っています。

④学習指導要領に沿いながら、選挙への関心を高めるための政治学習の指導充実を図っています。

また、平和学習派遣事業について引き続き、研究課題として取り組んでいます。



遠藤智与子
議員

寒河江市手話条例で
こころのバリアフリーを

障がいのある方もない方も真に
平等な社会、誰もが幸せになれる
社会を求めている。現在、全国で
97自治体が手話言語条例を制定し
ており広がりを見せている。その
ひとつとして山形県手話言語条例
が今年制定施行された。

①寒河江市で県内市町村の先陣を
きって制定してはどうか。
②手話のほかに点訳、代読、代
筆等、意思
疎通支援、
コミュニケーションの
バリアフリ
ーについて
どのような
状況か。
③窓口業務
職員をはじめ
め、職員や
議員などの
手話講座を



手話であいさつを

手話講座を
議員などの
職員をはじめ
め、職員や
窓口業務
職員をはじめ
め、職員や
議員などの
手話講座を

してはどうか。

市長 ①国の法制化の動きを見なが
ら調査研究し、関係団体と十分
意見交換を重ね検討していきます。
②今年度より、意思疎通支援の派
遣対象を、これまで公的機関等
の手続きに限っていたものを社会
生活上支障があると認められる場
合にまで拡充しています。

③講座の実施を検討していきます。
**高齢者になっても
充実した人生を**

高齢者の人口が増えている中、
高齢者のみの世帯も増加しており
「お茶のみする相手が減ってきてさ
びしい」という声も寄せられる。
高齢者が気軽に集える居場所づく
り等への支援について伺う。

市長 市では町会単位で「ふれあ
い元氣サロン」を開催しています。
また「いきいき一〇〇歳体操」を
行う自主グループや、「介護予防サ
ポーター」を育成しています。高
齢者が生きがいを持って集まれる
場所や、それを支援する人々が増
え活動が広がり、元気な地域づく
りになることから、こうした取り
組みを一層推進します。



國井 輝明
議員

農業政策のさらなる充実を！

①農家の方々より、剪定枝の無料
回収を復活してほしいとの要望が
とても多い。処分方法として焼
却処理している農家の方も多いが、
林野火災や環境にも配慮し無料回
収を実施できないか。

②新たな剪定枝の処分方法として
『チップ』を購入し、農家の皆様
に低額でレンタルする仕組みは作
れないか。

③県では、品種開発でさくらんぼ
の大粒化を目指している。このこ
とに対する本市の考え方は。

④弘前公園の桜は、豪華な花を咲
かせる。これはリング農家の剪定
技術にある。本市の桜も、さくら
んぼの剪定技術を用いて全国に誇
れる桜にはできないか。

市長 ①剪定枝については、焼却
による環境への影響や危険性を考
え焼却以外の方法で処分をお願い
していますが、貴重な再生可能エ
ネルギーとして広域的に回収、利



剪定枝の破砕機（チップパー）

活用することを検討していきます。
②昨年度に補助事業として購入補
助を行いました。費用が高額で
あることから個人での購入よりも
共同利用の需要が大きいと感じて
いますので、今後需要調査等を行
い支援方法を検討していきます。
③この研究は県園芸試験場で厳重
な品質管理や情報管理の下で行わ
れており、大きな関心を持ちなが
ら県との連携を図っていきます。
④さくらんぼの剪定技術を桜に活
かせるかどうかについて、さくら
んぼ農家や弘前公園の関係者から
お話をお聴きするなど研究してい
きます。

平成28年度

政務活動費

収支状況公開

市議会では、議会活動の活性化や市民に開かれた議会を目指し、政務活動費について平成28年度分から収支状況を市ホームページで公開しています。

政務活動費とは、議員の調査研究等の活動充実を図るため、必要な経費の一部として交付されるものです。

会派交付対象期間

会派名	交付対象期間
新政クラブ	平成28年4月1日～平成29年3月31日
市民クラブ	平成28年5月1日～平成29年3月31日
市政公明クラブ	平成28年5月1日～平成29年3月31日
さわやかクラブ	平成28年7月1日～平成29年3月31日
市政会	平成28年4月1日～平成29年3月31日
日本共産党 寒河江市議団	平成28年4月1日～平成29年3月31日

※ここでの会派は条例により、所属議員1人でも認められています。

政務活動費支出状況

(単位：円)

会派名	所属議員数	交付額	支 出								
			調査研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費	支出額	返還額
新政クラブ	6	975,000	769,054	144,944	0	0	0	0	35,424	949,422	25,578
市民クラブ	3	412,500	449,355	3,000	0	0	0	0	0	452,355	0
市政公明クラブ	3	412,500	393,795	3,000	0	0	0	0	0	396,795	15,705
さわやかクラブ	2	225,000	300,073	0	0	0	0	0	640	300,713	0
市政会	1	150,000	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000	149,000
日本共産党 寒河江市議団	1	150,000	150,057	1,000	0	0	0	0	0	151,057	0
合 計	16	2,325,000	2,062,334	152,944	0	0	0	0	36,064	2,251,342	190,283

【備考】

- ①政務活動費は各月1日時点で、各会派における所属議員数に月額12,500円を乗じた額を交付。
- ②交付額に対して超過した支出分は、各会派の負担。
- ③政務活動費の残額は市に戻入。(預金利子が発生した場合も同様)

日	議 会 日 誌
26日	議会運営委員会
25日	知事を囲む市町村自治振興懇談会(県市議会議長会)
24日	総会 全国市議会議長会定期総会
23日	全会協議会、議員懇談会、スポーツ議員連盟 総会、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟役員会及び総会
22日	定期総会 西村山地方議長協議会
19日	第1回臨時会、全会協議会、会派代表者会議、議会運営委員会
16日	議会運営委員会
15日	タブレット導入検討会、書共有システム研修会
10日	全会協議会、会派代表者会議、議会運営委員会協議会
9日	スポーツ議員連盟役員会
8日	会派代表者会議
2日	議会運営委員会
27日	5月 会派代表者会議
24日	議会報告会(～27日)
21日	4月 会派代表者会議、タブレット導入検討会
15日	議会運営委員会協議会
14日	議員懇談会
13日	議会運営委員会
12日	市議会だより編集委員会
11日	市議会へ要望書提出、市庁舎開庁50周年記念議場コンサート
10日	西村山地方議長協議会議員研修会
9日	市議会だより編集委員会
8日	タブレット導入検討会
7日	市議会だより編集委員会
6日	議会運営委員会
5日	7月 北名古屋市議会行政視察団来寒
4日	議会改革・活性化検討委員会、議会運営委員会協議会
3日	無会派行政視察(～14日)国会議員との懇談会(県市議会議長会)
2日	議会運営委員会協議会
1日	議員懇談会



4月19日～7月20日

議会報告会を開催しました

4月24日～27日に9会場で、議会報告会を開催しました。市民の皆さまからいただいた意見、要望等について主なものを紹介します。

防犯灯の電気料

参加者 防犯灯の電気料について、将来的に無料にならないかお聞きしたい。

議員 防犯灯の維持管理は、各町会等が行ってきた経緯

があり、現段階で全て市が負担する事について、時期尚早であるとの意見が多数です。ただし、当局には、

通学路等の共通部分について、将来的に補助等を検討していくことも必要ではないかと伝えたとところです。

小・中学校の給食費

参加者 給食費補助事業について、現在は半額補助だが、今後どのようにしていくのか。

議員 小学校については、平成31年度の無料化に向けて取り組んでおり、中学校については、今後の状況を見ながら取り組んでいく予定のようです。

市営住宅の今後

参加者 陵南地区に市営住宅建設予定と聞いているが、今後の取り組みについて聞きたい。

議員 今ある市営住宅をまとめ、市立病院北東に10戸×3棟を建設する予定でいます。平成29年度に地質調査・用地購入、平成31年度に建設予定となっています。

市内循環バス

参加者 市内循環バスの路線拡大について要望したが、どうなったのか。

議員 実証運行の結果を踏まえ、各町会長から要望を伺い、本格運行の路線を決定しましたが、今後も利用状況等を確認し停留所の追加など、利用しやすく整備されるよう当局に要望してまいります。

慈恩寺観光

参加者 慈恩寺に多くの観光客を呼び込むために、もっと大胆な発想が必要なのではないか。チェリーランドを訪れる人の割でもい

いから、慈恩寺に来てもらえるようにする方策はないのか。

議員 4月から生涯学習課に、慈恩寺歴史文化振興室が設置されました。また、ガイダンス施設については早期実現に向け進めており、多くの観光客誘客につなげていきたいと考えています。

ふるさと納税

参加者 ふるさと納税の状況は。

議員 本市の平成28年度納税額は、約23億円です。

市立病院

参加者 市立病院の経営状



活発な意見が交わされた「泉町公民館」

態はどうなのか。

議員 一般会計繰出金が約6億円ありますが、昨年度から公営企業法全部適用の病院として病院事業管理者が管理・運営する病院となりました。

空き家対策

参加者 市の空き家対策は、どうなっているのか。

議員 空き家対策は全国的な問題で、実態調査のため各町会長からもご協力をいただき、現在市内で約200軒の空き家が確認されています。それぞれの建物の状態に応じて、指導・助言などを行ってまいります。



多くの市民が参加した「上野公民館」

本県初のタブレット議会へ 多くの自治体・マスコミが注目

寒河江市議会では、本県のトップを切って6月定例会からタブレットを導入した議会運営を実施しました。タブレット議会とは、従来紙で配布していた議案書等の議会関係資料をタブレットという指で画面を操作する端末で送受信し、閲覧できるようにしたものです。これにより、議会関係の資料では年間約15万枚、印刷代など約150万円の削減が期待されます。

平成27年度からタブレット導入検討会を立ち上げて検討してきましたが、平成29年度予算で導入の運びとなり、5月15日に各議員に貸与されました。同日には全議員に対して研修会が実施され、定例会までの間何回かやり取りを実施したこともあり、大きなトラブルもなく本会議及び各委員会・分科会において、ペーパーの資料に頼らず使用できました。また、市当局においても市長はじめ各課長等が、タブレットでの議案説明や答弁を実施しました。6月定例会は試行という位置づけでしたが、順調に推移していました。

9月定例会からは、いよいよ本格運用です。全議員が「習うより慣れろ」の精神で取り組んでおります。乞うご期待！



全議員が参加し行われた研修会



タブレット端末に表示された議案書



タブレット端末を使用した6月定例会

市議会ホームページのご案内



市議会ホームページでは、インターネットによる本会議および予算・決算特別委員会のライブ中継、録画中継の配信を行っています。

また、本会議のほか、議会関係の会議予定や政務活動費等、いろんな情報がホームページで確認できますので、ぜひご利用ください。

接続方法

寒河江市役所ホームページの「寒河江市議会の表示（タイル）」をクリックすることで、左の画面につながります。

市民の声



下河原 (三泉)

内山 多美さん
うちやま たみ

6月、私の住んでいる三泉地区はサクランボ一色に染まっています。地区全体が赤く染まっている風景は、それはそれは見事なものです。私も東京出身の夫とサクランボ農家を営んでおり、朝から大忙しです。冬、雪解け後の剪定から

始まり、消毒、芽かき、葉かきなどを経て、たわわに実るサクランボを見ていると、改めて寒河江の素晴らしさを実感します。

一粒一粒サクランボ農家が苦勞して作ったサクランボを、全国各地の皆様美味しく食べていただいていると思うと、日々の疲れも心地よく感じられます。これまでも、そしてこれからも、永遠にこの素晴らしい真つ赤な風景が続くように、地区全体、寒河江市全体で守っていききたいです。フォーエバーヤング!!

9月定例会の日程(予定)

- 8月30日(水) 本会議(議案上程、説明)
- 9月1日(金) 本会議(一般質問)
- 7日(木) 本会議(一般質問)
- 8日(金) 本会議(質疑)、決算・予算特別委員会
- 11日(月) 各委員会・分科会(総務産業)
- 12日(火) 各委員会・分科会(総務産業・厚生文教)
- 13日(水) 各委員会・分科会(総務産業・厚生文教)
- 14日(木) 各委員会・分科会(厚生文教)
- 21日(木) 予算・決算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局(☎86-2111)にお問い合わせください。

議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議は原則公開です。

■9月定例会の請願・陳情の締め切りは、8月24日(木)の正午までです。

おらがまち紹介

南坂町会

奥平 暁俊さん
おくだいら あきとし

南坂町会には、醍醐地区内十二町会のひとつです。辻、堂庭、南坂、松蔵の小字名があります。町会内には本山慈恩寺をはじめとして、最上院、宝蔵院のほか、三つの坊があります。現在、多くの家庭では会社勤務や農業を営んでいます。江戸時代まで

は院坊などの寺院やそれに仕える寺役人がほとんどで、長い歴史と伝統が残っています。

かつては、二十四あった戸数も現在は十六戸という小さな町会となりました。春と秋の山王台付近の清掃や本山慈恩寺の雪囲いなど慈恩寺と関わりのある行事、醍醐地区レクリエーション大会やソフトバレーボール大会にも町会全体で積極的に参加しています。大会終了後は、大人から子どもまで交えた懇親会を行います。親睦融和を図っています。

編集後記

今年も寒河江が一年中で最も活気をおびる、さくらんぼの季節の到来です。当市議会でも六月定例会を「さくらんぼ議会」として開催し、今年で四年目となりました。議場にさくらんぼの鉢植え・シンボルマークの額を設置、市の象徴である「さくらんぼ」を通して「さくらんぼと歴史が育む スマイルシティ 寒河江」を議会としても全国に発信できればと思っています。



町内あげて慈恩寺の雪囲い

議会活性化の観点から今年度より政務活動費の議会ホームページ掲載を開始、ことなく、政務活動費の使用・目的等を閲覧いただけるようになりました。また、県内初の取り組みとなるタブレット端末を導入した初の議会運営を開始、効率的で迅速な議会運営を進めてまいります。

柏倉記